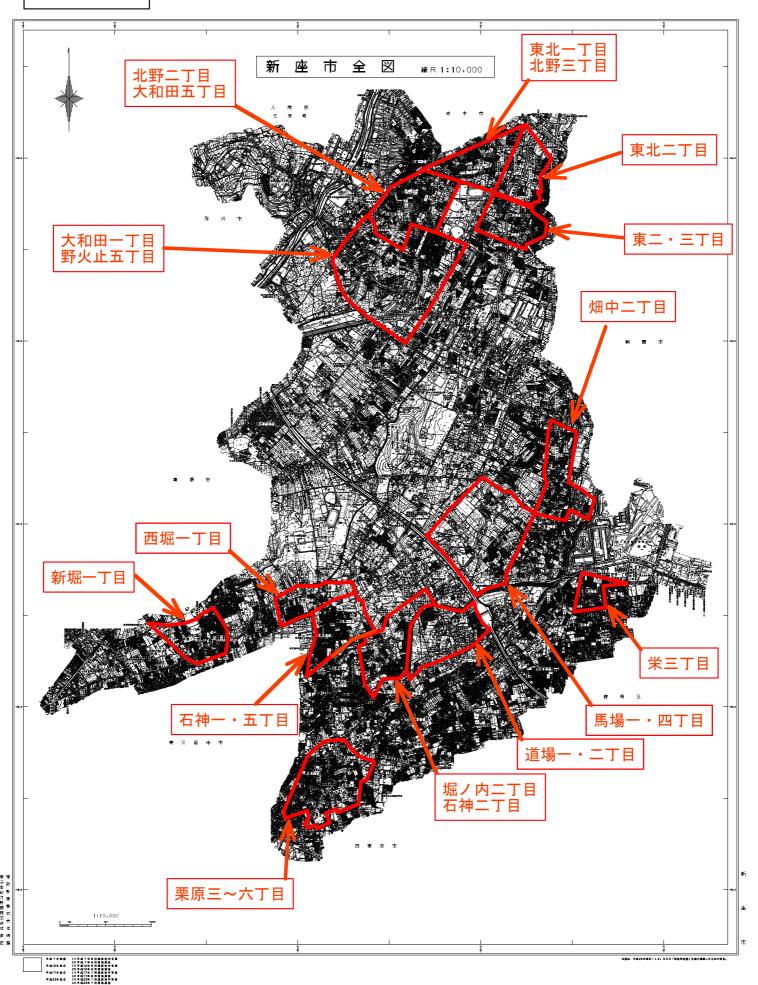
# 委託 仕様書

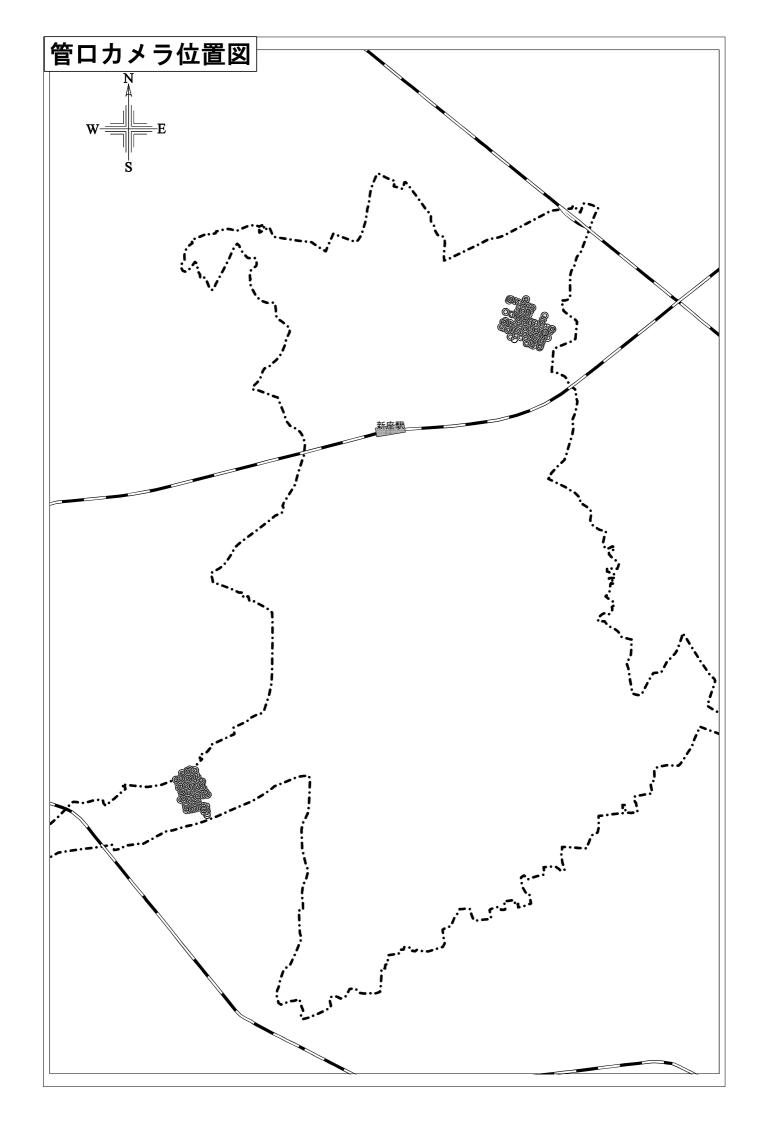
新座市インフラ整備部下水道課

令和「	7 年度	事	業	種	別	国	補	・ 市 単
委託の名称	  新座市公共下水道 	汚水管調査業	務委詞	£				
委託の場所	新座市内							
委託概要 管渠調査工								
マンホー	ル蓋調査工					278	基	
管口カメ	ラ調査工					278	基	
本管TV	カメラ調査工					4277	m	
高圧洗浄	車 洗浄工					1286	m	
報告書作成						1	式	

備考:この委託標準仕様については、埼玉県土木設計業務共通仕様書等に準拠すること。 (埼玉県土木工事委託業務実務要覧参照)

# 案内図

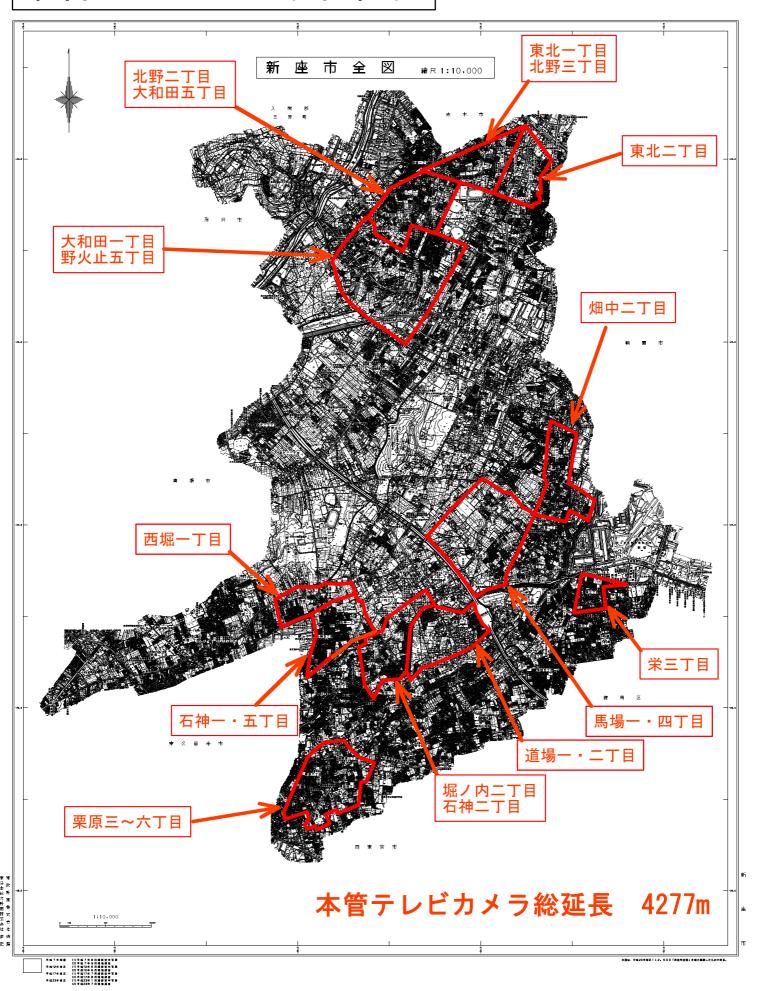








# 本管テレビカメラ位置図



# 公共下水道調査業務

# 特記仕様書

## 1. 適用範囲

- (1) 本特記仕様書は、「新座市公共下水道汚水管調査業務委託」に適用する。
- (2) 本特記仕様書、委託仕様書、図面及び標準仕様書に疑義が生じた場合は、新座市インフラ整備部下水道課と受注者の協議により決定する。

## 2. 業務目的

本業務の目的は、広範囲に存在する下水道管路施設の状況を的確に把握するため、施設の特徴を踏まえた計画的な調査が必要であり、この様な背景の中、目視及び管口テレビカメラ、本管テレビカメラを用いた人孔・管渠の調査を行うものである。

広域的な現状分析や点検結果にもとづく調査計画及び維持管理方法などを検討し、今後 の適正な維持管理方策の基礎資料とするものである。

## 3. 管口テレビカメラの仕様について

本調査で用いる管口テレビカメラの仕様は次のとおりであるが、この仕様に沿ったカメラシステム又は同等以上のカメラシステムを用いること。

(1) カメラの概要

調査員がマンホールに入らず、地上部よりマンホール及び本管の異常の有無について管ロテレビカメラを用いて可視範囲を目視により調査する。マンホール内及び接続されている本管内の状況を、調査員がモニターを見ながら調査を行う。

(2) ポール長

1.8m~4.5m (3 段階伸縮、カメラヘッド・L 脚装置時最大約 5m)

(3) ヘッド径

 $\emptyset 150 \,\mathrm{mm} \times \emptyset 200 \,\mathrm{mm}$ 

(4) 適用管径

管内状況による

(5) 画質

Full HD 画質

(6) 照明

超高輝度 L E D 16 灯

(7) モニター

制御器一体型 (録画装置付)

SD/SDHCカード (最大 32GB・CLASS10以上)

#### (8) ズーム機能

360 倍 (光学 30 倍・デジタル 12 倍)

(9) 調査機材については事前に監督員に承諾を得ること。

## 4. 本管テレビカメラの仕様について

調査に使用する機材は、常に点検し、完全な整備をしておくこと。管路のテレビカメラ 調査に使用する機材は、管渠内の水位の変動にも対処可能なように、以下の機能を備えた ものとする。撮影内容及び方法については、事前に監督員と協議する。

- (1) 管内の不良箇所等の鮮明なデータを得られるよう、カメラはデジタル映像であること。
- (2) 拡大撮影が可能なズーム式機能を備えていること。
- (3) 調査対象管路の最大スパン延長にも対応可能な機能を備えていること。
- (4) 曲管や体積物に対応できるよう、自走式は左右駆動の構造であること。
- (5) 調査機材については事前に監督員に承諾を得ること。

### 5. 一般事項

- (1) 受注者は、「業務計画書」に箇所、方法などを定め、事前に監督員に報告し、承諾 を得た上で作業に着手すること。
- (2) 調査にあたっては、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者若しくは第二種酸素欠乏 危険作業主任者の労働安全衛生法による技能講習を修了した者を配置し、下水道 施設に損傷を与えないように十分留意すること。また、下水道維持管理指針(総 論編、マネジメント編)に基づき、下記に示す事項に対し特に留意すること。
  - ○作業開始前、作業中、再入孔する前に、原則として垂直、水平方向にそれぞれ 3点以上測定点を設けること。
  - ○作業場所に下水や汚泥が堆積している場合は、外部から攪拌して水中の硫化水素を空気中に放出してから濃度測定を実施すること。
  - ○外部から攪拌できない場合には、濃度測定の結果が基準値以下であっても、適切な呼吸用保護具を着用させ、作業員を入れさせること。
  - ○作業場所では、酸素濃度を18%以上、かつ硫化水素濃度を10ppm以下に保つように常時換気すること。
  - ○作業中は常時警報付き測定器具によるガス検知を行い、異常を感知したら直ち に退避できる体制を整えること。
  - ○酸素欠乏症等にかかって墜落する恐れのある時は、高さ2m以内であっても墜落制止用器具を使用すること。
  - ○作業員が酸素欠乏症等を発症した場合は、無理せず、消防に通報し救出を委ねること。

- (3) 調査にあたり仮締め切りを必要とする場合は、監督員の承諾を得ること。
- (4) 受注者は、調査にあたり騒音規制法、振動規制法及び公害防止条例などの公害防止関連法令に定める規制基準を遵守するために必要な措置を講じること。
- (5) 監督員は、受注者が監督員の指示に反して作業を続行した場合及び監督員が事故 防止上危険と判断した場合には、調査の一時中止を命ずることができる。
- (6) 作業にあたり、道路その他の工作物を汚泥などで汚染させないこと。万一汚染させたときは、その都度清掃すること。
- (7) 調査終了後は、速やかに使用機材、仮設物などを搬出し、調査箇所の整理・清掃を行うこと。

#### 6. 遵守事項

本業務の実施にあたっては、業務の重要性をよく理解し、次の事項を遵守しなければならない。

(1) 下水道管路施設の維持管理に関し、現場特性を考慮した実際の維持管理作業についても高度な専門知識が求められる業務であるため、下記に示す資格を有する技術者を配置すること。

職務	保有資格条件
現場責任者	下水道管路管理総合技士または主任技士

- (2)業務の実施に必要な道路使用、交通の制限等の届出または許可申請を行い、その許可等を受けなければならない。また、取得後、速やかに監督員に報告すること。
- (3)業務の実施にあたり、施設の損傷箇所、土砂等堆積箇所等により、業務の続行が 困難となったときは、ただちに市監督員に連絡し、指示を受けなければならない。 この場合においても、上下流から調査する等調査の完遂に努め、その原因状況を 把握しなければならない。
- (4)動画撮影は、管口から管内の可視範囲までを行う。静止画撮影(カラー写真)は、 人孔蓋の表と裏、マンホール内(上部より撮影)、管内及びマンホール内の異常箇 所を行う。
- (5) 本管の調査は、原則として上流から下流に向け、テレビカメラを移動させながら 行うこと。本管の調査にあたっては管の破損、継手部の不良、クラック、取付け 管口等に注意しながら、全区間撮影(カラー)し、DVD等に収録すること。
- (6)業務完了後は、施設を現状に戻し、マンホールの鉄蓋等のがたつきの無いことを 確認するとともに必要があればがたつき防止の措置を講じなければならない。

## 6. 調査工

(1)委託業務計画書

受注者は、調査にあたり事前に下記事項を記載した委託業務計画書を提出すること。

- ア、調査概要
- イ、現場組織(職務分担、緊急時連絡体制等)
- ウ、調査計画(使用機器、調査方法、実施工程表等)
- エ、安全計画(保安対策、道路交通の処理方法、酸素欠乏空気・有毒ガス対策等)
- オ、その他 (監督員の指示する事項)
- (2) 使用機材

調査に使用する機材は、常に点検し、安全な整備しておくこと

(3)作業時間

受注者は、調査実施の前日までに道路使用許可証の写しを発注者に提出すること。 また、作業にあたっては道路使用許可条件を遵守すること。

(4)調查異状箇所判定

本調査で用いる判定基準は次のとおりである。

						判	断 基 準 表							
	【1】管種	į	HP:ヒューム管	VU:塩ビ管	T:陶管	RP:更生管	BC:ボックス(製品)	CB:現場打ボックス	その他:(文字で記入)	C:コンクリート(短尺)				
1.マ	ンホール	蓋の状	况											
			項目					判定ラ	ランク					
			切口 ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		А	1	В	С	D	Е				
			(車道)大型車	両の通行あり	T-	-8	T-14	T-20	-	T-25				
	【2】耐荷重	種類別	(車道)大型車	両の通行なし	-	-	T-8	_	_	T-14, T-20, T-25				
(I)			歩	道	_	-	_	_		T-8, T-14, T-20, T-25				
Œ.			【3】浮上·飛散防止构	幾能	機能	なし	_	_		機能あり				
			【4】転落·落下防止构	幾能	機能	なし	_	_	-	機能あり				
			【5】雨水流入		あ		_	_	_	なし				
		[6]外額	見(ふた及び受け枠の研	皮損・クラック)	あ		-	_	_	なし				
			【7】がたつき		がたつき			_	_	なし				
	【8】表面		車		≦21		_	2~3mm	>3mmかつ鋳肌無	>3mmかつ鋳肌有				
	(模様高		步		≦21		_	_	2~3mm	>3mm				
			[9]腐食(鋳出し表示の	)消滅)	_		見えないほど発錆	_	見えるが少し発錆	なし				
2			【10】浮上防止机	機能の作動状態	作動しない の脱落、固 肉が曇	着、腐食減	ı	_	_	正常に作動する				
	機能の	作動	【11】かぎ構造	きの作動状態	容易に	こ開く	-	_	_	正常に作動する(容易に開かない)				
			【12】転落防」	上機能の状態	作動し	ない	_	_	-	正常に作動する				
			【13】開閉机	機能の状態	人力では	開閉不能	勾配面の腐食により 開閉困難	食込み力増大による 開閉困難	_	正常に開閉可能				
		ふた	急勾配受け構造	【14】ふたの沈み	≥21	mm	_	_	_	<2mm				
		受け 枠間	思勾配受け 傳垣	【15】ふたの浮き	≧10	)mm		_	_	<10mm				
		の段差	平受け構造・管勾配受構造	【16】ふた受け枠間の段差	≥10	)mm	-	_	_	<10mm				
	ST - 11		【17】高さ調整部の損傷	(欠け・クラック)	あ	ŋ	_	_		なし				
3	その他		【18】周辺舗装の損傷	(穴・クラック)	どちらもね	ある状態	クラックあり、かつ穴 がない	どちらもないが、受 け枠と路面との間に 隙間が出来ている	_	なし				
			【19】蓋と周辺道記	路の段差	≥20	)mm				< 20mm				
2. 下	水の流量	及び旅	i設の状況			А			В	С				
			【15】腐食			鉄筋露と	L 状態	骨材	露出状態	表面が荒れた状態				
	[16]	(MH)	側壁破損・クラック/(管	きょ)クラック		・クラックの「 ・全周に	ш.		アの幅が狭い 月にクラック	・軽微なクラック				
	[17]	(MH)	医部、インバート破損/	(管きょ)破損		欠落(阝	角没)	全位	本に亀裂	A、B以外の破損				
	Ī	18] (N	[H)目地ズレ/ (管きょ) 🤉	継手ズレ		脱却して	ている	ズレ、隙	間の幅が広い	ズレ、隙間の幅が狭い				
			【19】侵入水			噴き出し	ている	流え	れている	にじんでいる				
			【20】たるみ・蛇行			管径の3/4	程度以上	管径の1/2程度	度以上3/4程度未満	管径の1/2程度未満				
			【21】取付管突出			管径の1/25			/2程度以上1/10程度未満 管径の1/10程度未満					
			【22】足掛腐食			再設置の			だが機能する	表面が荒れた状態				
			【23】付着物等				モルタル 2:油店		4:石灰乳 5:異物	·				
			【24】蓋開閉不可			1:食い込み				5:ダブル構造 6:その他				
			【25】蓋の異常				1:がたつき	2:段差	3:蝶番破損 4:そ	の他				
			【26】その他											
			【27】汚砂深率					2: 5~15%未満	3: 15~50%未満	4: 50%以上				
	[28] (MI	H) 人引	_緊急レベル/(管きょ):	本管緊急レベル			>(1)1 0.0 -	:Cランク 3:Bラ		5:特Aランク				
			【29】管内調査不可		1:深さ限	·界 2:偏花	3:木根 4:異物	5:管開閉 6:満水	7:内副管 8:内副管	出口 9:内副管落水 10:その他				

# (5) 記録表、写真帳の作成

調査について記録表、写真帳を作成すること。記録表については調査を行う 1 箇所につき 1 記録表を作成すること。写真については 1 スパンにつきマンホール蓋、マンホール内部、管口、スパン中間、スパン終点、異常箇所など適宜撮影しとりまとめる。本点検で用いる記録表は次のとおりである。

# 総括表

## ☆ 出来形数量調書

工種		種別		設計数量		出来形数量			差引数量	
巡視·点検·診断作業	Φ	~	mm		m		m	+	0	m
報告書作成				1	式	1	式	±	0	式

## ☆ 異常箇所集計

## 巡視・点検・診断作業

	管内沈殿物・流下物の状況	
下水の流下	管内の流量異常	
及び施設の	管内の損傷・不等沈下	箇所
状況	人孔内施設状況	
	その他	
	A	
_	В	
マンホール 蓋の状況	С	個
W. 3. W. D.	D	
	E	
人孔種別	ます	箇所

								巡視•点	検・診断:	集計表	ŧ											
			人孔間	設置	人孔種別		下水の流下及	なび施設の状	況 (注1)						マンホ	ール蓋	の状況(	(注2)				
No.	上流人孔番号	下流人孔番号	延長 (m)	年度		管内沈殿物・流 下物の状況		管内の損傷・不 等沈下	人孔内 施設状況	その他	耐荷重種 類別	浮上防止 機能	雨水流入	外観	がた つき	表面 磨耗	腐食	浮上 防止	かぎ 構造	転落 防止	開閉 機能	その他
			•																			
																		-				
																		1				
合計											<		/									

- (注1) 異常箇所のみ"有"と記入。
- (注2) 異常箇所のみ判定結果(A~D)を記入。 Eレベル(問題ないレベル)については記入不要。
- (注3) ますの場合"○"を記入

	Α	В	С	D	Е
合計					

B.															-171			No.			
点 検 日			夫	候		記録	录者					人孔	番号	ì							
	□国道	i			ロアス	77211.1	5				3	む・歩	道の別	1	口步	道 [	] 車道		その他	(	)
	□県道	l																			
道 路 種 別	□ 市道	i	舗装	種別								Wellsalan		en	l _						
	□私道	i			□平板		9				7	型車	OCIM!	<b>E</b>		]多	Ш	中	$\square_{\mathcal{D}}$	ì	
	☐ ₹のf	他()			□砂利	112															
人孔深(cm)			調整	高(cm)				区	分				汚水			訂水		合流	83		
材質	□ FCE	)		RC E	  その他 ( )			1000	500			11.000	平受	9.0200		□急	-				
	□T-2				□ T-8 □ その他(		)				90	置年		/ <del>*</del>	_		9500	6.12 ABO.			
呼び径(蓋)	300		2000-2	2007	☐ 600 ☐ 900 ☐ ₹	nAh i	<u> </u>	)				過年									
一次評価	構造種	100	, []	500 L		-> ID	Ì	-	評価	計里	- 62			(=)	クリー	- L 他 L	- TT #	314)	_		
			質がない	der tele 12 -	ドに「機能不足による改築/	हे ल स	F i Lude		LAT IUU	NE OF		以巨	ZN Z	(=>	22	7.3860	# <del>****</del>	2107			
1.マンホール蓋の状況(			D/9 JML 10. 1	ACME II )	( ( - 100 HE 1) AE ( - 44 A) 54 346 A	r servas	11 G-T	1991													
1.マンホール盛の(八元)	一次計	шу		F			Г					<b>€</b> 11 :	*: 04		(注1	1 2)					
調査・A	点検項目				調査・点検内容		-		_		-	#W 1	ac ne	C	(往)	1, 2)	m			- 10	
	fol:	耐荷重種類	e au		歩・車道別、による設置状況			А	_		В			C	_		D	_	-	E	
		的 问 里 <b>四</b> 字 学上防止机		- 4	浮上防止の設置箇所							_	_		_			_			
①設置基準による判定		(チエ)のエッ (伝落防止様			転落防止の設置箇所				_			_			_			_		_	
	100000	5]雨水流刀			雨水流入孔の状況							_			_			_			
	-	[6]外観			クラック・欠け				-					_	_			_			
		7]がたつき		推	育通過の音・足踏みによる動	1						_		_	_			_			
	[8	3]表面磨料	É		表面磨耗の状態																
②損傷劣化による判定		[9]腐食		鋳出	し表示の状態・蓋開閉時の状	態		_							_						
②債場労化による利定	機能	[10]浮土	防止		機能の作動状態											_					
	ø	[11]か響	構造		かぎの作動状態																
		[12]転落	防止		機能の状態					_	_		_			_	_				
	作動	[13]開閉	機能		機能の作動状態		_								_	_	_		_		
	ふた 受け	急勾受计			【14】ふたの沈み																
	枠間	平長汁精造・1			【15】ふたの浮き					_							0.				
③その他	の設施	機能の推			【16】ふた受け枠間の段差 欠け・クラック					_							_				
	S. Calbin	2舗装の損傷	1,545		穴・クラック					_			_			_		_			
	-	周辺練装の見			設置状況				_		_	_			_		_	_	-		
	集			数を記	Activities and the second										_		5000				
					取替えの緊急度							点	檢		П	TF.	常	$\neg$	摊	置判	市
		A	s	_	B				3		S	7					E		- 10	DEC 111	<i>,</i> -
措置判定																現時点	までは		ĺ		
		早期指	音量		計画的措置			経過	監視			定期	点検		3	特に限	別題は い	ê			
2.下水の流	で量及び	施設の状	Я						-	管きょ	(注	1,2)				- 14	*				
					MHより	Ŀ	流	下	流	Ŀ	流	下	流	Ŀ	流	T	流	上	流	T	流
マンホ	-/V (i	生1、2)			[1]管種																
					管径(mm)																
	A	В	С	無	撮影方向:路線番号	h		8		h		8		h		1		h			-
【15】腐食		-	-		【29】管内調査不可		Ħ I	有(				有(	)		<b>H</b>	有(				有(	_
【16】側壁破損・クラック 【17】底部、インバート破損		1			11:11% A	А	В	С	無	А	В	С	無	А	В	С	無	A	В	С	無
[17] 康都、インパート映画 [18] 目地ズレ		-			【15】腐食 【16】クラック	$\vdash$	-			$\vdash$	-		-		-		-	$\vdash$		_	-
【19】浸入水					【15】グラック						-		-								
【22】足掛腐食					【18】継手ズレ																
【23】付着物等		無	有(	)	[19]浸入水																
【24】盖開閉不可		##	有(		[20]たるみ・蛇行																
[25]蓋の異常	_	無	有(		【21】取付管突出																
【26】その他					【23】付着物等	- 4	II.	有(	)	4	Ę.	有(	)	4	iii.	有(	)	4	Ħ.	有(	)
					【26】その他																
【27】污砂深率		1 . 2 .	3 •4		【27】污砂滦率	1	• 2	• 3	•4	1	• 2	• 3	•4	1	• 2	• 3	•4	1	• 2	• 3	•4
【28】人孔緊急レベル		1 • 2 • 3	•4 •5		【28】本管緊急レベル	1	•2 •	3 • 4	•5	1	•2 •	3 • 4	-5	1	•2 •	3 • 4	•5	1	•2 •	3 • 4	•5
備考					付ける。 2.A~Eは別総								<b>z</b> 1	2 12 17	m 1.4	. v.=					
800,000	28 Z	八九紫思	V-/V/	平官祭	急レベルで5: 特Aについて	14.	疾患	J1-18	槽等	の対す	化化类	ME 9	SVV	·/v0)	-58	v '2=		_	_	_	
路上平面図																					
							3	各線者	番号	:											
					_																
						] E	管あ	IJ													

## (6) 評価分析

調査結果をとりまとめ、次の評価分析作業を行うこと。

- ア、緊急的な修繕箇所の抽出及び対策方法
- イ、詳細調査を必要とする箇所とその調査方法
- ウ、その他不具合箇所の抽出

## (7)納入成果品

納入する成果図書は基本的には次のとおりとするが、事前に監督員と協議する。

報告書 2部

報告書には、(6)評価分析とともに以下内容を記載する。

- 総括表
- ② 集計表
- ③ 記録表

記録写真帳(全マンホール内部状況及び異常個所) 2部

記録映像 (記憶媒体は別途協議) 2部

異状箇所図面 2部

その他、監督員指示事項 1式

# 委託費内訳表

費目	工種	種 別	細別	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘 要
請負作業費								
(人孔調査)								
	管渠調査工							
		マンホール蓋調査エ		基	278			A-1
		管ロカメラ調査エ	3号マンホール以下、人孔深3m以下	基	241			A-2
			3号マンホール以下、人孔深3mより深い	基	37			A-3
	小計							1)
	+n ++ ++ ++							
	報告書作成	マンナール 英田木 エ		#	070			A 4
		マンホール蓋調査エ		基	278			A-4
		管ロカメラ調査工	3号マンホール以下、人孔深3m以下	基	241			A-5
		日ロカケノ神直工	3号マンホール以下、人孔深3m以下 3号マンホール以下、人孔深3mより深い	基	37			A-6
			3号マンホール以下、八孔床3川より床い	至	37			A 0
	小計							2
	13.11							
	人孔調査計							3=1+2
(管路内調査)								
	視覚調査工							
		本管TVカメラ調査エ	直視側視式 小口径 管径800mm以下	m	4,277			A-7
	小計							4
	管渠洗浄工						<u> </u>	
		高圧洗浄車 洗浄工	管径200.250mm(堆積5%未満)	m	1,286			市単価契約(諸経費込み)
	小計							(諸経費込み)⑤
	+= /1 += // IS							
	報告書作成							

		報告書作成	本管TVカメラ調査 直視側視式 小口径	m	4,277		A-8
	小計						6
	管路内調査計						7=4+6
		安全費	交通誘導員B	人			8
直接作業費計		計					9=3+7+8
	共通仮設費					対象額	P=(1)+(4)+(8)
		率計上分	地域補正1.2	式	1		
	共通仮設費計						10
純作業費	八起队队员们						A=9+10
WOTT SKEE	現場管理費	率計上分	地域補正1.1	式	1		7. 🔮 😅
作業原価							Ср
	一般管理費等			式	1		
	契約保証費			%			
作業価格		小計					
		管渠洗浄工	諸経費込み	式	1		(5)
		合計					
	消費税			%	10		
請負作業費計	1,750,70	委託費計		,•	.0		

	マン	ホール	差調	查工		
A-1						(1基当り)
種別	形状•寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
調査技師	測量技師	人				
調査補助員	測量補助員	人				
ライトバン運転エ	1.5L,二輪駆動	日				B-1
計						1日当り
(1基当り)						·標準作業量(基/日)

	管ロカメラ調査エ(3	号マンオ	ールリ	以下、人孔深	3m以下)	
A-2						(1基当り)
種別	形状·寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘 要
調査技師	測量技師	人				
調査技師補	測量技師補	人				
調査補助員	測量補助員	人				
管ロカメラ損料		時間				
ライトバン運転エ	1.5L,二輪駆動	日				B-2
計						1日当り
(1基当り)						·標準作業量(基/日)

管ロカメラ調査工(3号マンホール以下、人孔深3mより深い)										
A-3		(1基当り)								
種別	形状∙寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘 要				
調査技師	測量技師	人								
調査技師補	測量技師補	人								
調査補助員	測量補助員	人								
管ロカメラ損料		時間								
ライトバン運転エ	1.5L,二輪駆動	日				B-2				
計						1日当り				
(1基当り)						·標準作業量(基/日)				

報告書作成(マンホール蓋調査工)									
A-4 (1基当り)									
種別	形状·寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要			
管理主任技師	技師A	人							
調査技師	測量技師	人							
調査技師補	測量技師補	人							
諸雑費		式	1						
計						1日当り			
(1基当り)						·標準作業量(基/日)			

報告書作成(管口カメラ調査工(3号マンホール以下、人孔深3m以下))										
A-5						(1基当り)				
種別	形状•寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘 要				
管理主任技師	技師A	人								
管理技師	測量主任技師	人								
調査技師	測量技師	人								
調査技師補	測量技師補	人								
諸雑費		式	1							
計						1日当り				
(1基当り)					·	·標準作業量(基/日)				

報告書作成(管ロカメラ調査工(3号マンホール以下、人孔深3mより深い))										
A-6	A-6 (1基当り)									
種別	形状・寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘 要				
管理主任技師	技師A	人								
管理技師	測量主任技師	人								
調査技師	測量技師	人								
調査技師補	測量技師補	人								
諸雑費		式	1							
計						1日当り				
(1基当り)						·標準作業量(基/日)				

本管テレビカメラ調査工(直視側視式 既設管 小中口径)									
A-7		(1m当たり)							
種目	形状•寸法	単位	数量	単価	金額	摘 要			
調査技師	測量技師	人							
調査技師補	測量技師補	人							
調査助手	測量助手	人							
本管テレビカメラ搭載車運転工(1)	直視側視式 小中口径	日				B-3			
計						1日当たり			
1m当たり	(金額)÷(1日当たり標	準作業	(量						

報告書作成							
A-8						(1式)	
種目	形状∙寸法	単位	数量	単価	金額	摘 要	
報 告 書 作 成 工 (視覚調査工)	本管テレビカメラ調査工 (直視側 視式 小中口径)	m	1			B-4	
計							
		•	•			•	

ライトバン運転エ									
B-1	(1日当り)								
種別	形状•寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘 要			
ガソリン		Q							
ライトバン損料	1.5L,二輪駆動	時間							
計									

ライトバン運転エ										
B-2		(1日当り)								
種別	形状∙寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘 要				
ガソリン		Q								
一般運転手		人								
ライトバン損料	1.5L,二輪駆動	時間								
計										

テレビカメラ車運転工(1) 直視側視式 小中口径										
B-3	(1日当たり)									
種目	形状∙寸法	単位	数量	単価	金額	摘 要				
ガソリン		Q								
一般運転手		人								
本管テレビカメラ搭載車損料	直視側視式 小中口径	時間				損料表				
計										

報告書作成工(本管テレビカメラ調査工 小中口径 直視側視式)									
B-4 (1m当たり)									
種目	形状·寸法	単位	数量	単価	金額	摘	要		
管理主任技師	技師A	人							
管理技師	測量主任技師	人							
調査技師	測量技師	人							
調査技師補	測量技師補	人							
諸雑費		式	1						
計						1日当たり			
1m当たり	(金額)÷(1日当たり標	準作業	(量						